



▲児童代表であいさつをする山城侑輝さん



▲清鷹小学校の校歌を全校児童で斉唱



▲あいさつをする山本校長



▲清鷹小学校の校旗授与

4月7日 清鷹小学校入学式 27人の新1年生も清鷹小学校に仲間入り！



▲お姉さんに手を引かれて入場



▲名前を呼ばれて元気よくお返事



▲入学児童紹介



▲鈴木寧愛琉(ねいる)さんが1年生へ向け歓迎の言葉を送る

2校の伝統を受け継ぎ、
新たな歴史を創っていく



「清らかでたくましく」 北秋田市立清鷹小学校が開校

鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校が統合して誕生した清鷹小学校（山本英幸校長、児童162人）の開校式が、4月6日に行われました。

開会の言葉、国歌斉唱のあとに、津谷市長から山本校長へ校旗が授与されました。

津谷市長は「3月31日をもって、鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校がそれぞれの長い歴史と伝統に幕を閉じ、北秋田市立清鷹小学校として新たに出発することとなった。これから入ってくる27名の新生を加えた全校162名の皆さんが、それぞれの学校で身に付けてきた力を合わせて清鷹小学校の新たな歴史のページを作ってほしい。この清鷹小学校が豊かな自然と地域の人々の愛情のもと、次世代を担う子どもたちを育て、新たな歴史の礎となっていくことを願っている」などとあいさつしました。

来賓を代表して黒澤芳彦市議会議長が祝辞を述べ、校章、校歌の制作者である木村伸さん、三浦栄一さん、川口洋一郎さんが紹介されました。

児童を代表して6年生の山城侑輝さんが「小猿部川流域の2校が1つになったことで、パワーは2倍にも3倍にもなる。清らかでたくましく



の校訓に込められた願いを叶えられるような小学校にしていきたい。全校で力を合わせて、未来に向かって羽ばたきましょ」と呼びかけました。

山本校長は「校名が決定するまで時間がかかってしまったが、地域の期待や子どもたちの願いなどを話し合う貴重な時間になった。校名には小猿部川の流れるような清らかな心を持ち、力強く羽ばたく鷹のように育ってほしいとの願いが込められている。この清鷹小学校が100年後も地域の中心であることを願っている」とあいさつをしました。

最後に、児童たちが元気いっぱい新しい校歌を斉唱し、出席者からは大きな拍手が送られました。